



原子力災害の特殊性

原子力発電所の事故による災害は、地震、水害などの自然災害とは異なり、その発生や被害の程度等において、次のような特殊性があります。

- 放射線は目に見えず、臭いもなく、いわゆる人間の五感に感ずることができない。
- 放射線が人間に与える影響は、出血や痛みがなく、被害の程度が自ら判断できない。
- 身の安全を守るためには、放射線等に関する概略的な知識を必要とする。
- 地震などの災害と異なり、災害応急対策を実施するまでの時間的余裕がある。

原子力災害に適切に対処するには、放射線や原子力防災に関する正しい知識を持ち、万が一緊急事態が発生した場合には、県や市町村などの指示に基づき、沈着・冷静に行動することが極めて大切です。

